

脳卒中になった後

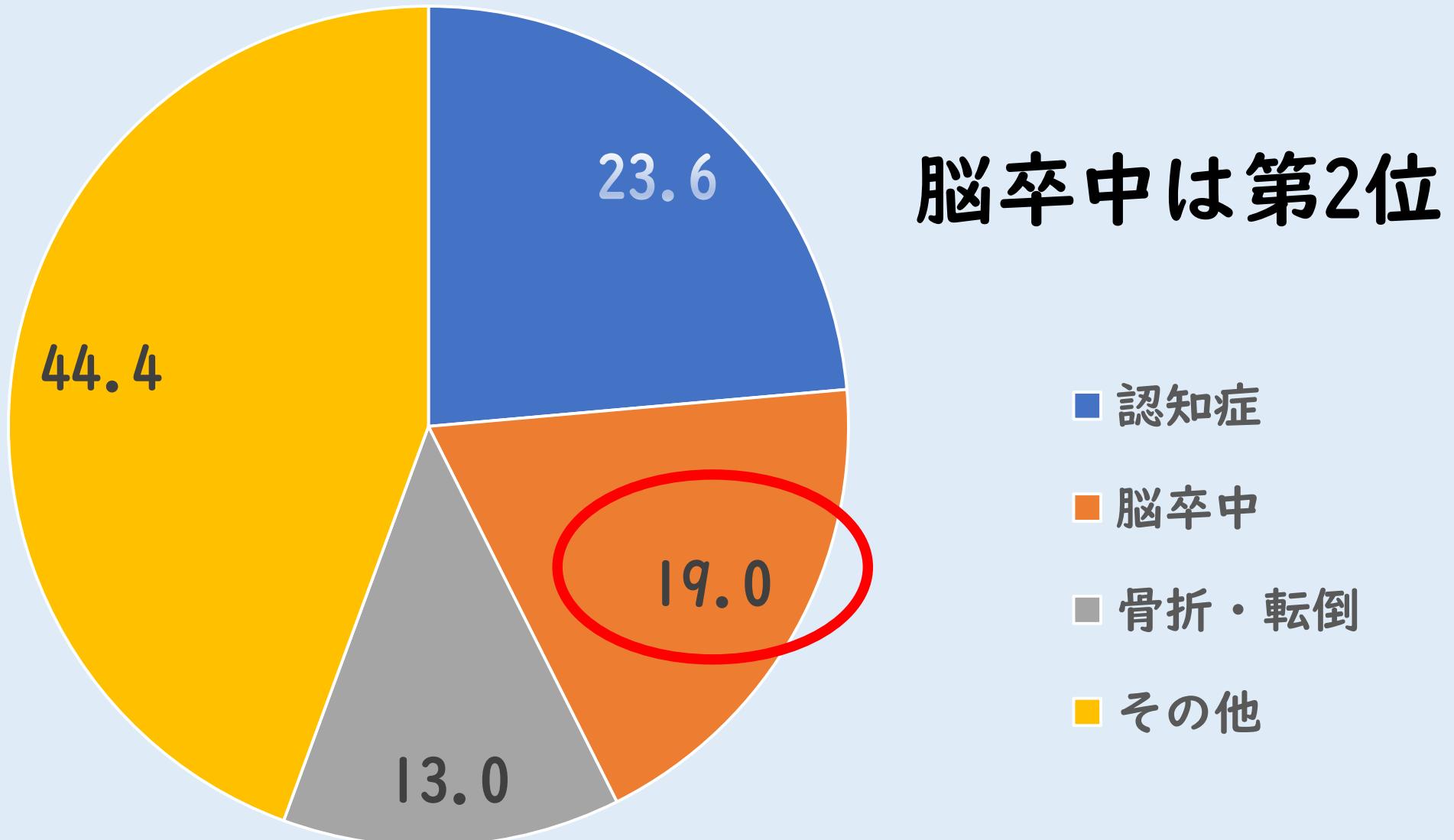
2025. 11. 2

NTT東日本伊豆病院

脳卒中看護認定看護師 萩野深雪



要介護の原因



出典：厚生労働省 2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概況をグラフ化

脳卒中は要介護度原因 第2位



表 17 現在の要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（上位 3 位）
2022(令和 4)年

現在の要介護度	第1位	第2位	第3位
総 数	認知症	16.6	脳血管疾患（脳卒中）
要支援者	関節疾患	19.3	高齢による衰弱
要支援 1	高齢による衰弱	19.5	関節疾患
要支援 2	関節疾患	19.8	骨折・転倒
要介護者	認知症	23.6	脳血管疾患（脳卒中）
要介護 1	認知症	26.4	脳血管疾患（脳卒中）
要介護 2	認知症	23.6	脳血管疾患（脳卒中）
要介護 3	認知症	25.3	脳血管疾患（脳卒中）
要介護 4	脳血管疾患（脳卒中）	28.0	骨折・転倒
要介護 5	脳血管疾患（脳卒中）	26.3	認知症

注：「現在の要介護度」とは、2022(令和4)年6月の要介護度をいう。

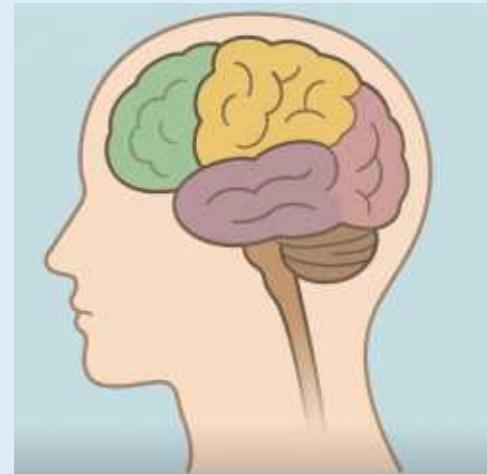
なぜ介護が必要になるのか

脳卒中の症状

手足に麻痺が出る

視野が欠ける

ふらつき



言葉が出ない
理解できない

記憶・注意・感情の
コントロールが
難しくなる

飲み込みが悪くなる

なぜ介護が必要になるのか

脳卒中の症状

麻痺
ことばの障害
飲み込みづらさ
など



合併症

肺炎
深部静脈血栓
尿路感染



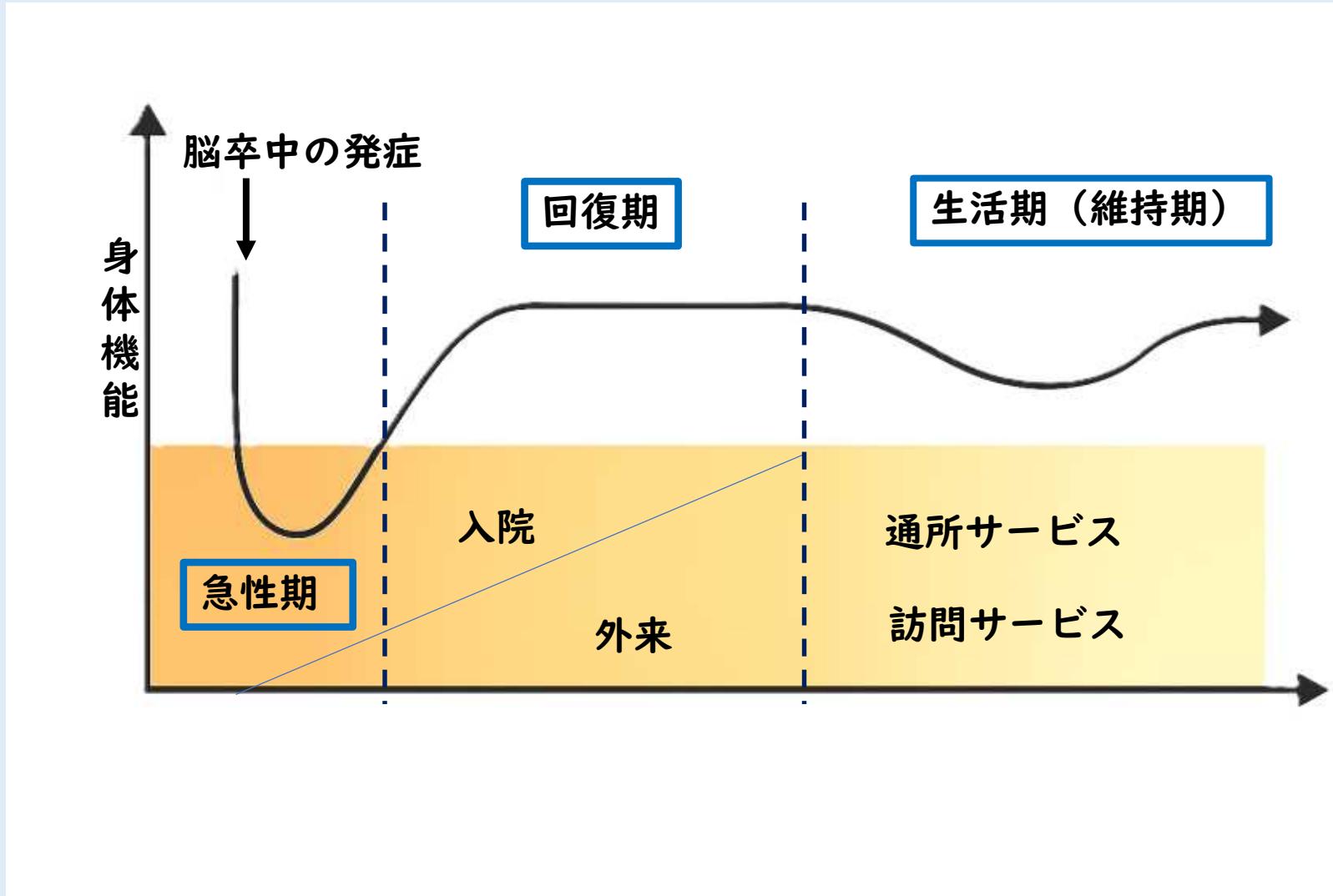
二次的な障害

筋力低下
関節拘縮
褥瘡
うつ
認知機能低下

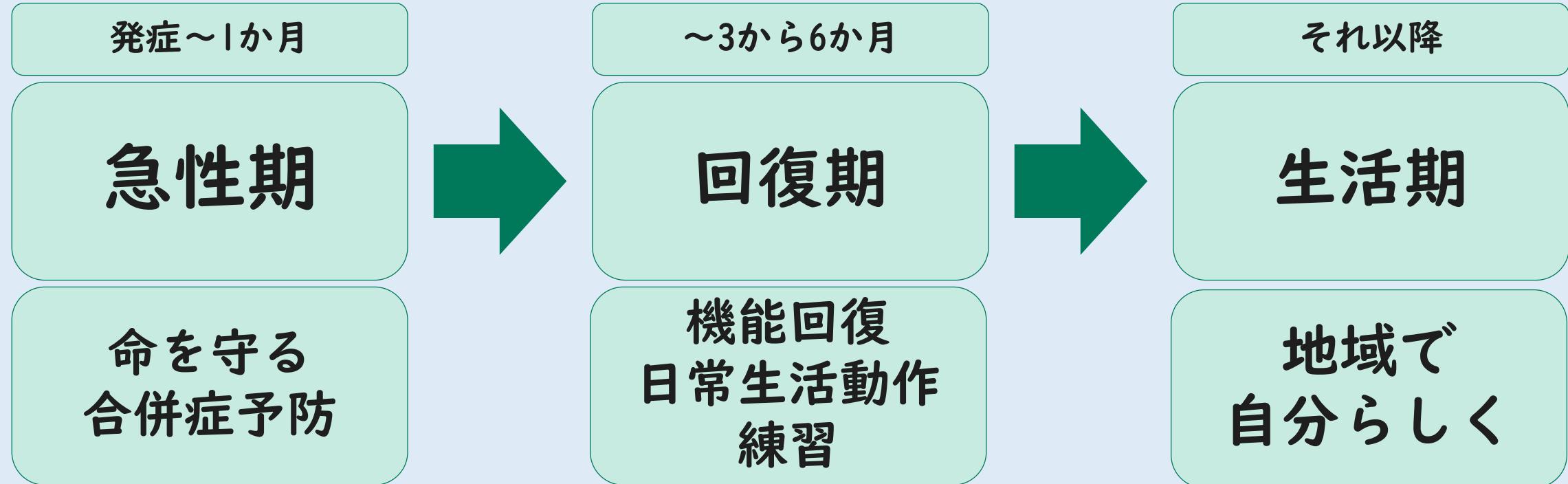


だからこそ
早期のリハビリテーションが大切

回復に必要な時期

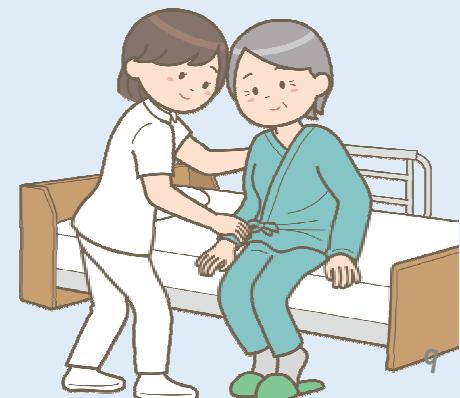
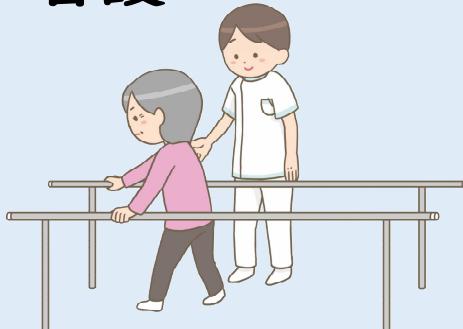


脳卒中の経過とリハビリテーションの段階



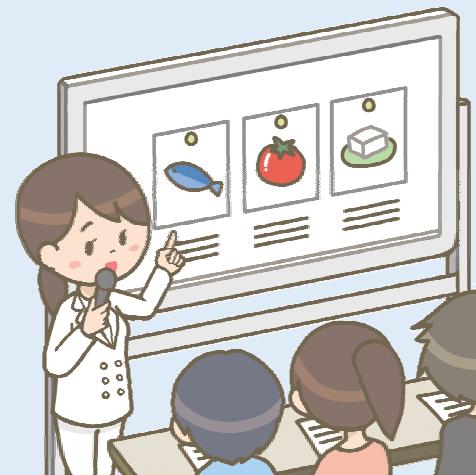
リハビリテーションは何をするのか

- ・ 医師 : リハビリテーションの処方 全身管理
- ・ 理学療法 (PT) : 運動機能回復・筋力訓練
→立つ・歩く・バランス
- ・ 作業療法 (OT) : 機能回復・日常生活動作・家事・趣味・社会生活
→食事・着替え・トイレ・掃除・買い物
- ・ 言語療法 (ST) : 話す・聞く・飲み込む・記憶の練習
- ・ 看護 : 生活に取り入れる



リハビリを行うのに必要なこと

- ・からだを整える
- ・こころを整える
- ・栄養
- ・口腔
- ・お薬の調整



食事をする

- 理学療法士 姿勢を整える
- 作業療法士 食事動作 道具
- 言語聴覚士 飲み込みの練習
- 看護師 食事の介助 食べた量 体力 栄養
- 介護福祉士 食事の介助
- 薬剤師 食事に影響する薬
- 医師 適切な食事の選択
- 医療ソーシャルワーカー 食事に関する情報を得る
- 栄養士 栄養状態や食事の種類、必要なカロリー
- 歯科医師・衛生士 口の中の状態を見る トラブル対応



いろいろな職種が関わります



自宅に帰るために

- ・家に帰るための準備
- ・ご自宅訪問
- ・退院後の生活の指導
- ・介護の指導



生活期のリハビリテーション





最近のリハビリは…



脳卒中は予防可能な病気です！

脳卒中予防十か条2025

- 第1条 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 第2条 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 第3条 不整脈 見つかり次第 すぐ受診
- 第4条 予防には たばこを止める 意志を持て
- 第5条 飲むならば なるべく少なく アルコール
- 第6条 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 第7条 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 第8条 体力に 合った運動 続けよう
- 第9条 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 第10条 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

脳卒中を発見するために

「FAST」



日本脳卒中協会と世界脳卒中機構 からのメッセージ

「過信より 受診で防ぐ 脳卒中」 日本脳卒中協会

「脳卒中？ 1分・1秒でも早く救急車を！」 世界脳卒中機構

出典：脳卒中協会



10月「脳卒中月間」 10月29日は「世界脳卒中デー」



インディゴブルーにライトアップ

韋山反射炉

富士山世界遺産センター

富士川SA大観覧車

静岡市役所静岡庁舎本館「あおい塔」

静岡済生会総合病院

アクトシティ浜松

聖隸浜松病院

浜松城

ご清聴ありがとうございました